



甘とみの
 瀬戸美濃産
 とうきまるざら
 陶器丸皿

おびぐるわ
■ 帯曲輪：大きな曲輪の外側にある幅のせまい細長い曲輪。斜面の防御や通路に用いられました。

からぼり
 空堀：水が入っていない堀。水が入るものは水堀といいます。

■ ^く ^る ^わ 曲輪：城を構成する区画で、人工的に平らにされた場所。

こくち
虎口：城や曲輪の出入口。

こしぐるわ
腰曲輪：斜面に設けられた小規模な曲輪。
斜面の防御に用いられました。

■ **城 館**：中世から近世にかけての防御施設
りょうしゅきょかん やまじろ
 を備えた領主居館や山城、城郭な
じょうかく
 どの総称。

じわり
地 割：土地をある基準で区割りすること。

■ たてぼり
縦堀：斜面と同じ方向（等高線に直交）に上から下に向かって設けられた空堀。

■ **土 塁**：土を土手状に高く積み上げた防御施設。

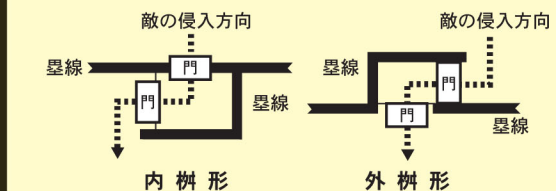
ないじどなべ とって
内耳土鍋：内側に耳の形に似た把手が付いた土製の鍋。鉄製の鍋を模倣したもので、東北地方では伊達氏の領国から出土する例が多い遺物です。

は じょう
破 城：城を壊して使えなくすること。
「城割り」ともいいます。

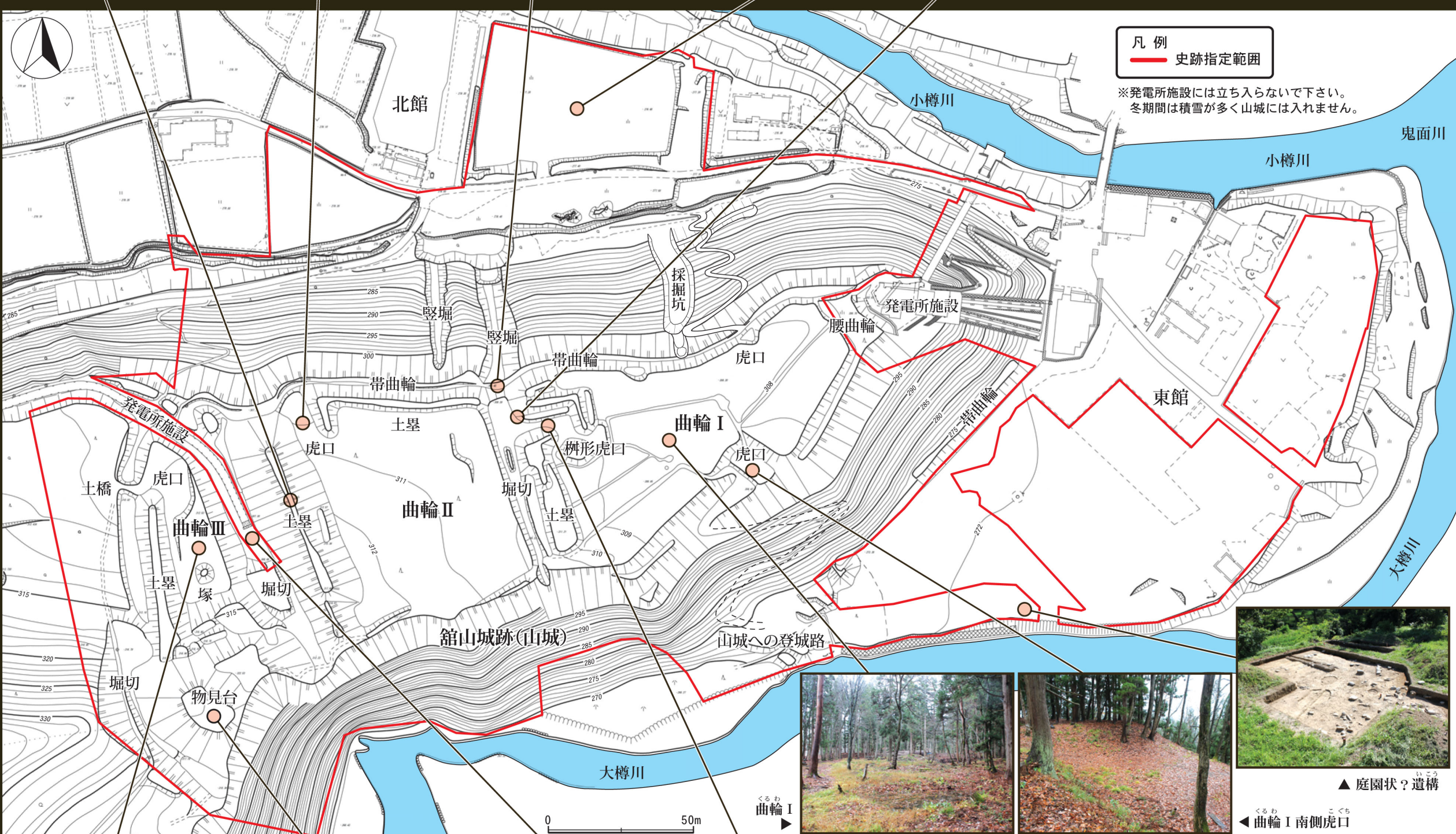
■ 普 請：城づくりのための土木工事のこと。
建物をつくることは「作事」と呼ばれますが、場合によっては城郭関係工事全般を指します。

堀 切：屋根や台地を切断するように設けられた空堀。

■ **枳形**：虎口に設けられた方形の防御施設。通路をまげて敵の直線的な侵入を防ぎます。内枳形と外枳形の2種類あり、石垣が普請された曲輪・西側の枳形は、内枳形に分類されます。



要 害：地形が険しく、守るのに有利な場所。山城を示すこともあります。









国指定史跡
館山城跡全体図

ひがしだて やまじろ
東館から山城を望む▶

